

## 訃報

木下正利様のご冥福をお祈り申し上げます。



日本産業洗浄協議会の初代会長を務められた木下正利様（三菱化工機㈱ 元代表取締役社長）は、去る9月2日に急逝されました（享年84歳）。心より哀悼の意を表しお知らせ申し上げます。

木下様は、当協議会の設立（1994年4月13日）に当たり初代会長職をお受け頂き、以後5年間にわたり会長として新しい協議会の発展のためにご尽力頂きました。その間、当協議会設立の目的であった”成層圏オゾン層の保護のために、モントリオール議定書に基づいて、オゾン層破壊物質である洗浄剤を1995年末に全廃すること”という国際的命題のために、国際的にも活躍して下さいました。

去る9月10日、護国寺 桂昌殿（東京都文京区）における告別式でご披露されました同社代表取締役社長の高木紀一様、およびアメリカ合衆国環境保護庁のアンダーセン博士の弔辞の一部を、三菱化工機株式会社様のご厚意により以下にご紹介致します。

### 【高木紀一様のご弔辞の抜粋】

“（…）一方、対外的には、持ち前の積極的かつ社会的なご性格から、経済界、業界関係の外部団体の役職に就任され、平成6年には、オゾン層の破壊をもたらすフロンガスの全廃に向けた取り組みを目的とした「日本産業洗浄協議会」の初代会長に就任され、地球環境保護活動の一端にも貢献されました。

本日も、当時オゾン層保護の為、故人とともに尽力されました元米国環境保護庁のオゾン層保護対策統轄部長であられましたアンダーセン博士より、その功績をたたえるお手紙を頂いております。

その中で博士は、『親友であり、かつ同志である木下正利様が、未来の世代の為に、世界の平和をもたらす様、世界にまたがる技術移転の為に、環境問題に優れた指導力を発揮された事を誇りに思うものです』と結ばれ、故人の功績を高く評価されました。（以下略）”

### 【アンダーセン博士のご弔辞】

故木下正利さんのご家族、ご友人のみなさまへ

本日ここに故 木下正利さんの生前のご遺徳を讃え、謹んで在りし日のお姿をお偲び申し上げます。

木下さんは、地球環境問題である成層圏のオゾン層破壊を防止するための活動において、日本そして世界の産業界をリードし、モントリオール議定書と呼ばれる国際協定に求められる新しい洗浄技術へと導いて下さった、重要な人物でした。

その結果、モントリオール議定書で定められた先進国の産業用洗浄分野においては、「1995 年末までにオゾン層破壊物質を全廃することを無事に達成することができたのです。

現在では、世界のすべての国々がモントリオール議定書に加盟し、加盟国はすべてこの協定を順守し、各種規制物質の削減や全廃を進めています。オゾン層破壊物質のうち 98%以上が段階的に廃止され、オゾン層は回復に向かっていきます。モントリオール議定書は、環境に関する国際協定としてもっとも成功したものとして広く認められるようになりました。

木下さんは三菱化工機株式会社の社長時代に、1994 年 4 月に設立された日本産業洗浄協議会の初代会長として、オゾン層の保護に尽力されました。同協議会は 150 社を越える日本企業によって結成され、オゾン層にやさしい産業用洗浄プロセス、特に中小企業での製造現場における転換支援に対して、強力な指導力を発揮されました。

木下さんは、このような功績から 1996 年に名誉ある「アメリカ合衆国環境保護庁・成層圏オゾン層保護賞」、2007 年に「同ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞されました。同時期に同協議会も 1995 年、2007 年にこれら各賞を受賞しています。モントリオール議定書の採択から 28 年経ちますが、日本人の「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」受賞者は過去 8 人しかおられないとても名誉あるものです。

全世界の技術移転に環境面から強いリーダーシップを発揮し、後世のため住みよい世界を作ることに貢献してくれた木下さんは、私にとって本当に自慢の友人であり仲間です。ここに、木下さんへ衷心より感謝の誠を捧げ、私のお別れのことばとさせていただきます。

### スティーブン・O・アンダーセン

(元) アメリカ合衆国 環境保護庁

(元) 国連環境計画 モントリオール議定書 技術・経済アセスメントパネル 共同議長

2015 年 9 月 5 日、米国バーモント州バーナードにて